

水系1液 耐汚染型アクリル・シリコン塗り替え専用塗料

IPキレイコートSi

◆環境対応型(エコ)水系塗料◆

低VOC(W1)

F☆☆☆☆(101117)

トルエン・キシレンゼロ配合

鉛・クロムゼロ配合

外装仕上げをいつまでも美しく！

建物における外装の汚染でよく目につく現象は、サッシ周りなどに発生する雨ジミ、コーキング処理部の黒ズミです。これに対して、現在市販されている一般水系シリコン塗料は雨ジミは発生しますが塗膜に定着せず、セルフクリーニング効果によって除去するタイプが主流です。

IPキレイコートSiは雨ジミが発生するメカニズムを研究し、セルフクリーニング効果はもちろんのこと初期の耐汚染性を高めることにより雨ジミ自体の発生を軽減します。また、コーキング処理部の汚染についても独自の耐可塑剤技術によりタック(ベタツキ)の発生をシャットアウトし黒ズミの発生を抑制します。

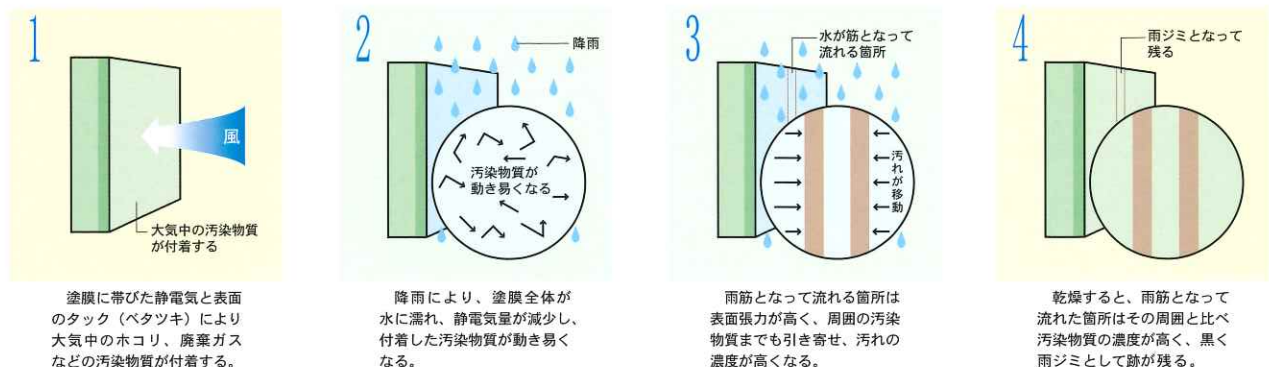
環境面においては、トルエン・キシレンなどの揮発性有機化合物や、鉛・クロムなどの有害物質を一切使用していませんので、外部はもちろんのこと内部においても安心してご使用いただけます。

特 長

1.耐汚染性に優れる

特殊アクリル・シリコン樹脂、帯電防止剤との相乗効果により、塗膜表面のタック(ベタツキ)を抑え、また風などによる静電気の発生を抑えることで、雨ジミの原因である大気中のホコリ、排気ガスなどの汚染物質の付着を軽減します。また、汚染物質が付着した場合においても、降雨時に洗い流すセルフクリーニング効果によりクリーンな塗膜を長期的にわたり保持します。

雨ジミ発生メカニズム



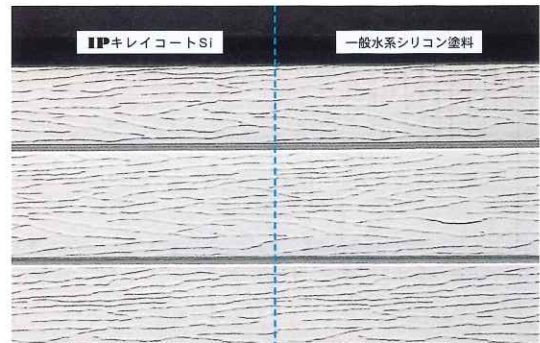
汚染除去性試験



IPキレイコートSiと一般水系シリコン塗料を塗装し7日間乾燥させた試験片にカーボンブラックを散布した状態で、試験片の下半分を水に浸漬させ、数秒後に引き出し汚染除去性を評価。(未散布箇所との色差 ΔE を測定)

製品名	色差 ΔE
IPキレイコートSi	0.1
一般水系シリコン塗料	40.0

雨ジミの発生状況



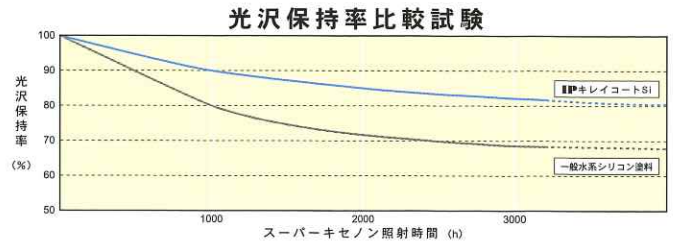
2.コーキング処理部への塗装適性に優れる(耐可塑剤性)

一般的にコーキング処理部への塗装は、コーキングに含まれる可塑剤の影響を受け、塗膜のタック(ベタツキ)や密着不良などが発生します。IPキレイコートSiは弊社独自の耐可塑剤技術により可塑剤の影響によるタック(ベタツキ)をシャットアウトし、黒ズミの発生や密着不良などの心配がなく安心してご使用いただけます。

3.高耐候性

高耐候性特殊シリコン樹脂・高耐候性顔料に加え、特殊UV抑制効果(UVハイブリッド)を付与していますので、紫外線や雨などの影響による塗膜劣化を最小限に抑えます。

促進耐候性試験では、スーパーキセノン照射3000時間(自然暴露約8~10年相当)において光沢保持率80%以上、色差ΔEが1.0以内というトップクラスの耐候性を発揮し、それらの効果を長期にわたり保持します。



耐退色性比較試験 (色差ΔE)

スーパーキセノン照射時間	1000時間	2000時間	3000時間
IPキレイコートSi	0.2	0.3	0.7
一般水系シリコン塗料	0.3	1.9	2.2

色差の数値が小さいほど退色変化が少なく耐候性に優れています。(JIS K 5600-7-7)

4.高い防藻・防カビ効果

優れた防カビ・防藻剤を配合していますので、湿気などが原因となるカビや藻の発生を長期にわたりシャットアウトします。

防カビ試験 (貼付法)



5.耐皮脂性に優れる

内部に使用の場合、他社の耐皮脂用水系塗料と同等の塗膜性能がありますので手で触れる箇所において皮脂などに含まれる脂肪酸の影響により、経時で発生する塗膜の汚れ、軟化、および剥れなどを抑制します。

6.柔軟な塗膜

耐カップング性試験(旧エリクセン試験)において9.5mmという柔軟で強靱な塗膜を形成しますので微弾性塗膜の塗り替えやコーキング処理部への塗装においてもワレの発生を軽減します。

試験片の裏面に寒天培地上に貼付し、4菌種の混合孢子懸濁液を噴霧し27℃で7日間培養した後カビの繁殖度を観察する。
[JIS Z 2911準拠]

7.豊富なバリエーション(原色17色)

IPキレイコートSiは艶有り、艶消し(3分艶相当)の2タイプを用意しています。しかも、それぞれの艶に対して豊富な原色(17色)を設定していますので、淡彩色、および濃彩色への幅広い調色はもちろんのこと、水系塗料では今まで難しいとされていたあざやかな色調への調色対応が可能です。(5分艶への艶調整も可能ですのでご用命ください)

環境性能

- 低VOCタイプ
 - VOCを標準とした室内塗料分類 (エマルジョン塗料VOC対策品) W1
- 鉛ガイドライン
 - 東京都「鉛ガイドライン」(含有量0.06%以下) ゼロ配合
- 室内濃度測定対象化合物
 - 国土交通省 住宅局 測定対象化合物 (トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン) ゼロ配合
 - 文部科学省 シックスクール測定対象化合物 (トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン) ゼロ配合 (スチレン・エチルベンゼン)
- ホルムアルデヒド放散等級
 - 国土交通省 建築基準法 (日本塗料工業会 登録番号:I01117) F☆☆☆☆

■健康リスクに対する建築用塗料の目標基準(日本塗料工業会)

塗料設計条件 (エマルジョン塗料)	目標基準	判定
TVOC(全揮発性有機化合物)	1%以下	適合
芳香族系炭化水素	0.1%以下	適合
アルデヒド類	0.01%以下	適合
重金属(鉛、クロム類)	0.05%以下	適合
発癌性物質 生殖毒性物質 変異原性物質	0.1%以下	適合
感作性物質	0.1%以下	適合

塗膜性能

試験項目	試験結果		基準
	艶有り	艶消し*	
乾燥時間	標準状態	合格	2時間以内
	5℃	合格	4時間以内
隠蔽率 (%)	97以上	96以上	95以上であること
光沢度 (%)	80	11	鏡面光沢60℃
耐水性	合格	合格	水に7日間浸漬し異常がないこと
耐アルカリ性	合格	合格	飽和水酸化カルシウム水溶液に7日間浸漬し異常がないこと
耐洗浄性	合格	合格	1000回以上の洗浄に耐えるものとする
耐酸性	合格	合格	5%塩酸水溶液に7日間浸漬し異常がないこと
耐カップング性(mm)	9.5	9.3	JIS K 5600-5-2(旧エリクセン試験)
コーキング適性	合格	合格	アクリル、およびウレタンコーキングに塗装し、塗膜に割れや粘着性の発生がないこと
耐湿潤冷温繰返し性	合格	合格	光沢保持率が80%以上で、湿潤冷温繰返しに耐えるものとする
促進耐候性	合格	合格	キセノンランプ2500時間照射後、塗膜に割れ、剥れ、膨れなどの異常がなく、光沢保持率が80%以上であること
屋外暴露耐候性	合格	合格	12ヶ月の試験で、白亜化の等級は2以上で、割れ、剥れ、膨れ及び穴がなく、色と艶の変化の度合いが見本品に比べ大きくないものとする

* 3分艶相当

用途

外壁全般の塗り替え専用

各種サイディングボード、モルタル・コンクリート、スレート板、ALC、金属系カーテンウォールなど

荷姿

製品名	艶	常備色	原色	荷姿
IPケイコートSi ^{※1}	艶有り 艶消し ^{※2}	ホワイト	17色 対象製品設定原色 共通色見本 参照 ^{※3}	15kg 3.5kg
IP含浸シーラー (水性1液カチオン系シリコンシーラー)	—			15kg 4kg

※1 淡彩色および濃彩色への調色が可能(5分艶への調整可能)
 ※2 3分艶相当
 ※3 受注後の納期回答となります。

仕様書

標準施工仕様書

(20℃ RH65%)

工程	使用材料	希釈率	塗布量	塗装方法	乾燥時間	施工面積
素地調整	・ゴミ、ホコリ、油脂類などの付着物、および劣化した旧塗膜は高圧水洗浄など適切な除去方法を用いて、除去物も含め十分に 取り除いてください。(水洗浄の場合、24時間以上放置し、乾燥確認)					
シーラー	IP含浸シーラー	原体使用	0.12~0.15kg/m ²	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上	100~125 m ² / 15kg 26~33 m ² / 4kg
中塗り	IPケイコートSi	0~5% (清水)	0.15~0.17kg/m ²	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上	中塗り+上塗り 46~53 m ² / 15kg 11~12 m ² / 3.5kg
上塗り	IPケイコートSi	0~5% (清水)	0.13~0.15kg/m ²	ハケ・ローラー スプレー	—	

施工上の注意事項

- ◆施工前に本製品が用途・要望・現場の状況に的確であることを十分に確認の上、施工を行ってください。ご不明な点についてはお問い合わせください。
- ◆素地調整は必ず念入りに行ってください。また素地の乾燥を確認の上、付着物、および劣化した旧塗膜・除去物がないことを十分に確認してください(素地調整が不十分な場合は、塗膜の密着不良や変色などの原因となります)。
- ◆各工程前に施工面にホコリ・黄砂などの粉塵が飛来していないことを十分に確認し、次の工程を行ってください(飛来している場合は、適切な除去方法を用いて除去物も含め十分に取り除いてください)。
- ◆塗布量については現場における素地の表面状態などにより異なる場合がありますので、標準施工仕様書の塗布量を基準に調整してください。また、一度に厚塗りをしないでください(塗布量を超える厚塗りは塗膜のワレなどの原因となります)。
- ◆塗装中、塗装後、および塗料の取り扱い作業時は、換気を十分に行ってください。また特に塗装後は、乾燥のための換気を十分に行ってください(換気が不十分な場合は、乾燥が遅れる原因となります)。
- ◆塗装方法により希釈率を調整してください。尚、希釈率が5%を超えますと、タレや色わけの原因となりますので十分注意してください。
- ◆夏期の塗装については、気温・素地の表面温度が高いため塗膜乾燥が早まり、作業性や仕上がりに影響しますので、希釈率を調整したり、朝方など涼しい時間帯の施工をお奨めします。
- ◆シリコン系シーリング材で処理された箇所への塗装は、シーリング材の種類や使用条件により密着不良を起す場合がありますので、必ず試験塗装を行ってください。また、目地部周辺にシリコンオイルがブリードしている場合は、密着不良の恐れがありますのでシンナーまたは油除去用クリーナーにて洗浄してください。
- ◆可動部、および床面などの耐摩耗性が要求される箇所、または、塗膜同士が接触する箇所への塗装はお避けください。
- ◆特殊な表面処理(フッ素コート処理、撥水处理、光触媒処理など)を施している素地への塗装は、上塗り塗料との密着を妨げる原因となりますのでお避けください。
- ◆クラック箇所(幅:1mm)の補修については、IPクイックガードにて前処理をしてください。
- ◆乾燥を十分に確認した後、次の工程を行ってください。特に、冬期、梅雨期の施工は気温や湿度の影響により乾燥が遅れる場合がありますので、十分注意してください。
- ◆他の塗料とは絶対に混ぜないでください。
- ◆特殊な素地への塗装についてはお問い合わせください。
- ◆塗装後、4~5時間は降雨、降雪、結露(夜露)など十分に注意してください(塗膜の密着不良、およびフクレ・色ムラの原因となります)。
- ◆塗装中、および乾燥過程において、降雨・強風が予想される日、気温・素地の表面温度が5℃以下、雰囲気湿度が85%以上の場合は塗装をお避けください。
- ◆本製品の保管、または運搬については、直射日光・風雨を避け、雰囲気温度が40℃以上、0℃以下の状況には置かないでください。また、開缶後はなるべく早めにご使用ください。
- ◆本カタログの記載内容についてご不明な点、または記載内容以外についてはお問い合わせください。

□製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

代理店名

IP インターナショナルペイント株式会社

本社・工場 〒760-0080 香川県高松市木太町3072番地
 TEL 087-833-3525 / FAX 087-833-3527
 関東支店 〒330-0834 さいたま市大宮区天沼町2-952
 TEL 048-644-3528 / FAX 048-643-5291
 関西支店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋3-6-13
 TEL 06-6978-6855 / FAX 06-6978-6856
 九州出張所 〒814-0174 福岡市早良区田隈1-14-1
 TEL 092-836-5090 / FAX 092-836-5091